質疑・回答書

告示番号	第47号	件 名	平成25年度公共下水道事業庄内下水処理場水処理脱臭機械設備更新工事
No	質疑事項	回 答	
1	脱臭室内への機器等設置にあたり、床荷重の許容値をご指示ください。	10000N/m ² 以下です。	
2	脱臭室内の撤去品について、制御盤、現場操作盤、電気ケーブル、ケーブルラック、電線管およびこれらに付随する架台、基礎等の一切は、本工程範囲外と考えてよろしいですか。	詳細は受注後の協議によりますが、ご質問の通り本工程範囲外です。	
3	図番M-4/B-B断面図/通り芯②'にある既設搬出入扉は、流用するものと考えてよろしいですか。	詳細は受注後の協議によりますが、ご質問の通り既設流用です。	
4	特記仕様書P. 9/5. 脱臭装置の運転方法に記載の内容は、別途ご発注と想定します電気設備工事の範囲と考えてよろしいですか。	範囲としては電気設備工事となりますが、脱臭装置の運転方法を考慮した上で機器の設計、製作を行ってください。	

質疑・回答書

告示番号	第47号	件 名	平成25年度公共下水道事業庄内下水処理場水処理脱臭機械設備更新工事
No	質疑事項	回 答	
5	脱臭塔(A系)および脱臭塔(B系)の吸着剤仕様である「ヤシガラ炭吸着剤」は、吸着剤表面に薬剤等を添着していない「未添着炭」と判断してよろしいですか。	ヤシガラ炭吸着剤は添着炭です。	
6	脱臭塔(A系)および脱臭塔(B系)で吸着剤容量が示されていますが、設計交換頻度(破過するまでの運転時間)をご指示ください。また、各臭気成分濃度に対する設計平衡吸着量をご教示ください。	交換頻度は1年以上。 参考としますが、設計平衡吸着量は下記にて検討致しました。 H ₂ S: A系11.5%、B系5.7% (CH ₃) ₂ S: A系0.9% CH ₃ SH: A系1.9%、B系1.3% その他は原臭濃度が基準内です。	
7	特記仕様書P.24/5. 使用材料の(3)に、防火ダンパの記載がありますが、設計書に記載ないため、適用外と考えてよろしいですか。また今回工事範囲において、防火区画を貫通する箇所はないものと考えてよろしいですか。	防火ダンパは必要ありません。 また、防火区画を貫通する箇所もありません。	
8	図番M-37/脱臭機棟天井部の搬入開口設置および復旧に伴う建屋構造計算、強度計算は本工事範囲外と判断してよろしいでしょうか。	現状通り復旧するのであれば必要ないが、変更等ある場合は受注者にて適切に構造、強度計算をしてください。	